

ケース1: 補強後評点1.0台を目標にする場合の概算工事費 (最低評点 0.53→1.10)

(下の表で数量「0」は工事を行わないことを意味します。全ての項目で消費税は含まれていません。)

番号	項目A	項目B	数量	単位	単価(円)	金額(円)	備考
1	屋根工事		0.0	m <sup>2</sup>	10,000	0	野地板は既存のまま
2	1階補強	外壁側	7.0	単位	75,000	525,000	1単位=910mm幅
3		内壁側	12.0	単位	60,000	720,000	1単位=910mm幅
4		金物補強	2.0	箇所	10,000	20,000	開口及び部分復旧
5		基礎	1.0	m	60,000	60,000	
6		2階床剛床化	13.2	m <sup>2</sup>	15,000	198,000	
7	2階補強	外壁側	0.0	単位	75,000	0	
8		内壁側	3.0	単位	60,000	180,000	
9		金物補強	14.0	箇所	10,000	140,000	開口及び部分復旧
10	小屋組	金物補強	1.0	式	80,000	80,000	火打・筋交増設含む
11	工務店諸経費		1.0	式	125,000	125,000	
12	補強用金物・他		104.0	m <sup>2</sup>	2,000	208,000	
13	以上小計					2,256,000	消費税別
14	耐震補強設計費		104.0	m <sup>2</sup>	2,400	250,000	設計図面は、A3サイズ8枚程度。
15	改修補助金申請業務		1.0	式	80,000	80,000	補助金申請代行業務
16	耐震改修工事施工監理費		104.0	m <sup>2</sup>	2,400	250,000	施工監理回数は18回(1回当たり1時間程度)限定。
17	以上小計					580,000	消費税別
	合計					2,836,000	基準となる全体予算、消費税別

※(共通事項)数量の1単位とは壁長さ(柱芯芯距離)が910mmのものを言います。

※注意: ①消費税が別途加算されます。

※注意: ②施工業者が耐震補強工事に未熟な場合、工事費及び施工監理費が増加する場合があります。